

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.40, No.1



館長ご挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。東北大学附属図書館長の植木俊哉です。

皆さんがこれから、大学での学びで活用する川内キャンパスの図書館は、約50年前の建設以来初めてとなる全面改修工事を昨年行い、新しく生まれ変わりました。皆さんが今まで見たこともないような学習エリアが広がり、そこで友人同士が話し合いながら学ぶ姿に驚かれるかも知れません。またこの春から図書館の1階にカフェも新設しますので、皆さんの大学生生活の憩いの場としてもご利用いただけたらと思っています。

東北大学にはこの川内の本館以外にも、各キャンパスに4つの分館があります。全学で合計約400万冊の図書・雑誌を有しており、各学部での専門的学習や研究に活用されています。東北大学に入学されたすべての皆さんが、図書館という知の宝庫を最大限に活用し、有意義な学生生活を送っていただくことを心より願っております。

新入生歓迎号

Contents

館長ご挨拶

SPECIAL

- ようこそ！東北大学附属図書館へ 2
 - ・大学の図書館ってどんなところ？
 - ・【本館】
 - ・【医学分館】【北青葉山分館】【工学分館】【農学分館】 3

TOPICS

- 図書館のすすめ 4
 - ・全学教育科目・カレントトピックス「大学生のレポート作成入門ー情報探索から執筆までー」(1セム、金5) 科目開講
 - ・図書館アルバイトのヒトコマ 一本への書きこみ 5
(文学研究科修士1年) 吉川真太郎
 - ・私の図書館オススメ
留学生コンシェルジュ(文学研究科博士2年) 于榮
 - ・グローバルフロア
- 学生選書企画 『本屋へGo! 2014』 6

SERIES

- 「ゆかりの人々」 7
文学研究科 山田仁史 准教授
- <つながり>の一冊 7
『人間の土地』(文学部4年) 増田愛

EVENTS

- オリエンテーションに参加しよう! 8
- レポート作成に役立つ講習会 8



ようこそ！ 東北大学附属図書館へ

東北大学には、5つのキャンパスに計19の図書館・室があり、皆さんの学習をサポートしています。1年生のうちには川内キャンパスの本館を使うことが多いと思いますが、学年が進むにつれ専門分野の資料が揃う他の図書館・室を使う機会が増えてきます。ここで紹介するどの図書館も利用できますので、ぜひ訪れてみてください。その際は、学生証もお忘れなく！



大学の図書館ってどんなところ？

こんな事ができます

- ・ 静かに一人で学習
- ・ グループでのディスカッション
- ・ パソコンを使ったレポート作成
- ・ 本や雑誌、データベースでの情報収集
- ・ 図書館に備えてほしい本を「リクエスト」
- ・ 使い方や探し方で分からないことは、図書館スタッフがサポート
- ・ 無線LANの利用

パソコンを使ってもっと便利に

- ・ 図書館にどんな本があるか検索
- ・ 貸出状況の確認、貸出期間の延長、予約
- ・ 他キャンパスや学外の図書館からの資料取り寄せの申込
- ・ データベースや電子書籍・電子ジャーナルなどの利用

【本館】

本館には、授業や学習で使う基本図書や人文社会科学系の専門書が約270万冊あります。

図書館は静かに学習・読書できるだけではなく、学生同士でディスカッションをしながら学習できるスペースや、カフェなどもあります。また、貴重な蔵書の展示や、様々なイベントも行っていますので、ぜひ定期的に足を運んでみましょう。

開館時間	1号館	平日	8:00 ~ 22:00	土日祝	10:00 ~ 22:00 (試験期間は8:00 ~)
	2号館	平日	8:45 ~ 17:00	土日祝	閉館



▶ 図書館正面



▶ **メインフロア**
レポート作成や情報探査に利用できるPC75台と、グループディスカッションができるスペースや自由に使えるホワイトボードなどがあります。その他、各種カウンター、新着雑誌や視聴覚（CD、DVD）などの資料、グループ学習室（個室・要予約）も利用できます。



▶ **グローバル学習室 (p.5もご覧ください)**
グローバルな人材育成を支援するフロアです。グループでディスカッションを行ったり、予約してイベントを行うこともできます。留学生のための日本語や日本文化を学ぶための図書、海外へ留学したい学生向けの情報や語学学習資料などもありますので、ぜひご利用ください。



▶ **留学生コンシェルジュ**
(4~7、10~2月の13:00-17:00)
本学の留学生が、多言語で図書館の使い方やレポート作成のための情報探査法についてアドバイスをします。留学生も日本人学生も気軽にお立ち寄りください。



▶ **学生閲覧室 1階・2階**
学生の皆さんの学習に必要な図書約18万冊を自由に利用できます。閲覧席も約450席ありますので、ぜひご活用ください。



▶ **2号館 (製本雑誌・古典資料)**
2号館には、主に学術雑誌が置いてあります。また、大学院生以上であれば、4階の古典資料や狩野文庫といった貴重な資料も利用できます。



▶ **カフェ (イメージ図)**
4月6日オープン予定!

【医学分館】

医学分館は、星陵キャンパスに位置する医学・歯学分野の専門図書館です。大正4(1915)年に設立され、今年、平成27(2015)年には創立100周年を迎えます。

医学部、医学系研究科、歯学部、歯学研究科、加齢医学研究所、東北メディカル・メガバンク機構及び病院などの教職員や学生を主たる利用対象者としています。

館内では医学・看護に関する教科書を豊富に取りそろえており、また「外国雑誌センター館」として、医学・生物学系の希少な雑誌を収集するとともに、全国の大学、研究機関に対して文献複写等の情報提供サービスを行っています。

『解体新書』等の貴重な資料も所蔵しており、一部については医学分館のホームページでも公開しています。

(<http://www.library.tohoku.ac.jp/med/d-lib/d-lib.html>)

データベースや文献管理ソフトなど各種の講習会も開催しています。利用に際して不明な点がございましたら、どうぞ気軽にカウンターまでおたずね下さい。

開館時間 平日 9:00～20:00
(8月、3月については17:00まで)
(休日、年末年始等は除きます。)

※本学の教職員および星陵地区所属の学部学生・大学院生については、上記時間以外及び休日も利用できます。(7:00～24:00)



▶解体新書(医学分館所蔵)



▶医学系データベース活用セミナー

【工学分館】

工学分館は、青葉山東キャンパスの中央に位置する工学系の専門図書館です。工学部、工学研究科、環境科学研究科、医工学研究科、情報科学研究科等に所属する方が必要とする学術資料・情報を中心に収集し、提供しています。

開館時間は、下記のとおりですが、工学部など青葉山東キャンパスの学部・研究科等に所属する学生は、閉館時も学生証を使って入館することができます。平日は、7時から24時まで、土・日・祝休日は9時から20時までご利用いただけます。

エントランスホールには、一般雑誌や新聞、飲食可能なスペース、気軽に使える自習スペースがあります。授業の空き時間や通学の時間調整などにご活用ください。

開館時間 平日 9:00～20:00
(春・夏季等休業期間は、9:00～17:00)
休館日 土・日曜日、国民の祝日および振替休日、
年末年始等



▶グループ向けの個室
自主勉強やプレゼンの練習など、さまざまな目的で利用されています。



▶閲覧席風景
定期試験や大学院入試の時期には、多くの方が深夜まで熱心に勉強しています。

【北青葉山分館】

北青葉山分館は、青葉山キャンパスの理学部と薬学部の間中に位置しています。理学・薬学分野を中心に約24万冊の資料を所蔵しており、その内容は最先端の研究成果から近代科学の古典的資料まで様々です。

緑に囲まれた建物からは遠く太平洋や奥羽山脈を望むことができ、静かで落ち着いた環境の中で学習できます。北青葉山キャンパスの学部にも所属する方は、開館時間以外も早朝から深夜まで利用可能です。

話し合いながら学習したい方向けのグループ閲覧室もあります。ホワイトボードやプロジェクタ、スクリーンなどを備えており、オンラインサービス『MyLibrary』から利用予約ができますので、ぜひ活用してください。

授業のテキストはひとつお持ちしていますが、購入リクエストも『MyLibrary』で随時受け付けていますので、積極的に申し込みください。

開館時間 平日 9:00～20:00
(春・夏季等休業期間は、9:00～17:00)
休館日 土・日曜日・国民の祝日および振替休日、
年末年始



▶北青葉山分館外観



▶閲覧席風景

【農学分館】

農学分館は、農学及び生命科学系の専門図書館です。農学研究科・農学部がある雨宮キャンパスの中央奥に位置し、市の中心部へ車で10分という便利な立地ながら、緑と静寂に包まれた環境の中にあります。

開館時間は平日9時から20時までとなっていますが、農学研究科・農学部所属の学生等は7時から24時までほぼ一年中利用できます。授業の合間や試験期間の学習など、お気軽にご利用ください。

なお平成28年度中には、青葉山新キャンパスに建設される新図書館への移転が予定されています。ぜひ楽しみにしてください。

開館時間 平日 9:00～20:00
(春・夏・冬季休業期間は9:00～17:00)
休館日 土・日曜日・国民の祝日および振替休日、
年末年始

※本学教職員および農学研究科・農学部の学生は上記時間以外及び休館日も7:00～24:00の間利用可能です。



▶農学分館外観



▶閲覧席風景

図書館のすすめ

全学教育科目・カレントトピックス

「大学生のレポート作成入門－情報探索から執筆まで－」(1セメ、金5) 科目開講

大学生になると、レポートを書いて、自分の考察・意見を述べるということが必要になってきます。

この授業では、大学生に求められる「学術的」なレポートの作成法や、それに欠かせない情報収集の方法の基礎を身に付けることを目的としています。また、大学図書館の活用法や、先生方の研究活動について紹介する回もあるため、レポート作成にとどまらず、広く研究の世界を知ることでもあります。ぜひ受講して今後の学習生活を充実させましょう！

授業内容

- ① レポート作成法(レポートの構成、作成のポイント、引用方法) <酒井聡樹先生、図書館職員>
- ② 学術情報探索法(図書・論文・新聞記事の探し方や使い方の実習) <図書館職員>
- ③ 研究活動の実際と情報検索(自然科学分野・人文社会科学分野) <渡辺正夫先生、犬塚元先生>
- ④ 大学図書館の活用法 <西尾剛先生、泉山靖人先生>

4/10(金)16:20に
川内北キャンパスA406
でお待ちしております!



▶ 図書館での授業<グループディスカッション>

♪) 昨年度の受講者からの声

大変でしたが、これから先に活かせる内容が豊富な授業でした。

授業全体としては、全ての講義がよいレポートを書くために必要不可欠な内容だったので、講義を受けてよかったと思いました。

サポートデスクを利用させていただきました。特に、いざレポートを書くとなると難しく感じ、どうしたらよいか迷った際に、アドバイスをいただけたのがよかったです。



● 授業時間外でもレポート作成をサポート! <サポートデスク>

授業時間外でもレポート作成の相談ができる窓口を、5月頃から図書館内で開設予定です。受講生に限らず利用できますので、レポート作成や情報収集などで悩んでいる方など、気軽にご相談ください。

図書館アルバイトのヒトコマ 一本への書きこみー

文学研究科修士1年 吉川真太郎

図書館カウンターでアルバイトをしていると、返却された本に鉛筆で書きこみがあって消しゴムをかけなければならないことがあります。図書館の資料ですので書きこみはダメなのですが、たまにおもしろい書きこみがありますのでそれを少しご紹介します。

例えばヘンなことが書いてあったりします。学術書の一文中に特に力が入った下線がひかれ横に「そうか! ○○については追及する必要がないのか!」と書いてあるのがありました。感動がそのまま形になって書きこまれています。内容についてメモっちゃうのは百歩譲ってわかるとして感嘆詞の「そうか!」が「!」つきで書かれているのが趣あります。ノートに書いてくれよ…って思います。

別パターンとして、文章に長きにわたって線を引いてしまっているケース。重要な箇所が線で隠れているのではと心配します。私も中高生の頃世界史や倫理の教科書に同様の書きこみをしていたので、いや、今でも自分の本にはしてしまいがちですからこれ系の書きこみは他人事に思えません。

また理数系のテキストにありがちですが、証明方法に文句や注意喚起をしているケース。「この論証は相変わらず説明不足」とあったり「ここ誤り、注意!」とあり余白部分に独自の式が書いてあったりします。私は理系ではないのでこのような先輩の言い伝えを見つけた際ありがたさはよくわかりません。とりあえず仕事なので冷酷な顔して消しゴムで消します。おもしろい書きこみに消しゴムをかけるとき面倒くささと一緒に少し残念な気持ちになります。

しかし、やはり図書館の資料へ書きこみしてはいけません。借りた本に重要なアイデアを見つけたとき直接書きこみせず、ノートやPCにデータとして残すなどして資料を大切に使用するようにしましょう。



TOPICS

私の図書館オススメ

留学生コンシェルジュ(文学研究科博士2年) **うらく 于楽**

これから新生を迎えるシーズンになりますが、それを機に図書館の利用にまだ慣れていない方に、「これはぜひ知っておいてほしい!」という図書館本館についての、私のオススメを紹介したいと思います。

まず学部生の方には、書庫に入れるように**書庫ガイド**を早めに受けるのをおすすめします。ウェブ上の蔵書検索も便利ですが、130万冊も収めている書庫に実際に入ってみると、いろいろな発見ができます。また、**グループ学習室**という個室の勉強スペースも紹介したいです。予約しておけばグループで行う学習のために使えるので、研究棟の教室の代わりにぜひ活用してください。



大学院生の方に紹介したいのは、グローバル資料室にある**研究個室**です。邪魔が入らない静かな環境であり、予約すれば連日の利用も可能なので、集中して研究を行いたいときはおすすめです。また、2号館にある古典資料や狩野文庫の利用もおすすめしたいです。院生以上の方しか入れないので、ぜひ一度足を運んでみてください。

留学生の皆さんには、1号館2階にある**グローバル学習室**を紹介したいと思います。外国語の雑誌や新聞のほかに、留学生図書コーナーもここにあるので、留学生がよく使う資料がたくさん置いてあります。日本人学生向けの海外留学の関係資料や英語多読用のテキストもあり、留学生ではない方も気軽にご利用ください。また、図書館には多言語で留学生をサポートする**留学生コンシェルジュ**もいます。わからないことがあれば何でもご相談ください。留学生コンシェルジュでは世界各国の文化を紹介する企画も随時開催しており、ぜひ見ていただきたいと思います。

グローバルフロア

昨夏のリニューアルに伴い1号館2階に新設されたグローバルフロアは、国連やEU、東日本大震災などの資料が並ぶ**グローバル資料室**と、留学生用図書や語学学習用の英語多読資料、移動可能な机と椅子(約80席)を備えた**グローバル学習室**からなります。

グローバル人材育成支援を主な目的とするグローバル学習室は、講義、セミナー、サークル活動など、様々な活動の場として利用できます。



▶リーダーズコーナー

グローバル学習室
で実施された
主なイベント

- ・グローバルラーニングセンター主催の「グローバルキャリアセミナー」(計14回)
- ・仙台二高生の「英語多読研修会」(計3回)
- ・津波塩害農地復興のための東北大学菜の花プロジェクト「日中合同セミナー」
- ・ボランティア学生グループ「I PLANET (アイプラネット)」の活動(詳細は下記参照)

ほかにも多くの学生団体やサークルにご利用いただいています。

「グローバル学習室でこんなことできるの?」「こういうイベントをやりたいんだけど…」

そんなときは、本館の
メインカウンターに気軽に
お問い合わせください。

～英語多読のススメ～

「英語多読」とは、英語の本をたくさん読んで、自然と英語を身に付けていくという学習法です。

グローバル学習室にある「リーダーズコーナー」には、本学の授業でも行われている英語多読のテキストが14000冊以上置いてあります。

授業を受ける学生の皆さんはもちろんです。独学で勉強したい方も、ぜひご利用ください。英語多読の効果的な利用方法などについては、図書館ホームページやコーナーの掲示を見てください。

～ボランティア学生団体「I PLANET」～

代表 徳留 光一

IPLANETは人文社会科学系短期留学受入プログラム(IPLA)で受け入れる留学生の大学生活に密着しながら、国際交流を楽しむ東北大学の学生団体です。

私たちは旅行やスポーツ、餅つきや料理教室等の様々なイベントを月に一回開催しています。また、単なるイベントの開催のみならず、チューター制度や言語カフェ、日本文化ワークショップなど他にはない活動により密接で長期的なサポートを提供しています。留学生と日本人学生が仲良くなることで、留学生の生活をより充実したものにすることを目指しています。

私たちはグローバルカフェという言語クラスを、毎日図書館のグローバル学習室で行っています。このクラスでは10か国ほどの言語を、各言語のネイティブスピーカーである留学生が教えてくれます。1回のクラスは1時間ほどで毎日2～3の言語のクラスを開催しています。とても和やかな雰囲気、誰でも参加しやすいように行っています。毎日違う言語のクラスを行っているため、外国語に興味のある人や留学生との交流に興味のある人は、ぜひ来てみてください。グローバル学習室にはホワイトボードや多くの本があり、クラスを行うのにとても役立っています。

学生選書企画 『本屋へGo! 2014』

毎年10月から12月にかけて、学生選書企画『本屋へGo!』を実施しています。『本屋へGo!』とは、学生さんが書店へ行き図書館に所蔵して欲しい本を直接選ぶという企画です。学部学生、大学院生であれば、一人でも友達と一緒にグループでも参加できます。選ばれた図書は、1号館2階学生閲覧室の展示書架に展示中です。貸出もできますので、ぜひ、手にとってご覧下さい。

『本屋へGo! 2014』で選定された図書の一部を紹介します。

■ 文学部学部学生 T.T.さんが選んだ本

T.T.さんの
コメント

本学の図書館は現代詩文庫が全巻揃っており現代詩には強さを見せるが、現代俳句や現代短歌には弱い。そこでそれらの叢書を購入した。一括して購入できてよかったと思う。

- ・私のもらった文学賞 / トーマス・ベルンハルト [著]; 池田信雄訳
- ・カルナヴァル = carnival : 句集 / 金原まさ子著
- ・徳川日本の論語解釈 / 黄俊傑著; 工藤卓司訳
- ・重力の虹 / トマス・ピンチョン著; 佐藤良明訳; 上, 下.
- ・動物を追う、ゆえに私は(動物で)ある / ジャック・デリダ著; マリールイズ・マレ編; 鶴飼哲訳.
- ・岩田宏詩集成 / 岩田宏著.
- ・オルフェウスの声 : 詩とナチュラール・ヒストリー / エリザベス・シューエル著; 高山宏訳
- ・平等の方法 / ジャック・ランシエール [述]; 市田良彦 [ほか] 訳
- ・人はなぜ記号に従属するのか : 新たな世界の可能性を求めて / フェリックス・ガタリ著; 杉村昌昭訳.
- ・かたすみさがし / 田中ましろ著
- ・タンジブル / 鯨井可菜子著.
- ・八月のフルート奏者 / 笹井宏之著.
- ・TTT : トラのトリオのトラウマトロジー / ギジェルモ・カブレラ・インファンテ著.
- ・アカシア / クロード・シモン著; 平岡篤頼訳
- ・渋江抽斎 / 森鷗外著. - 改版.
- ・グッドモーニング / 最果夕希著.
- ・つむじ風、ここにいます / 木下龍也著
- ・提案前夜 / 堀合昇平著.

他

■ 工学部学部学生 M.M.さんが選んだ本

- ・Graphic design in Japan. 2014 / 日本グラフィックデザイナー協会年鑑委員会制作
- ・クレアー art box : 線と色彩 / クレー [画]; 日本パウル・クレアー協会編
- ・Go Hasegawa Works = 長谷川豪作品集 / 長谷川豪著
- ・伊東豊雄の建築. 2002-2014 / 伊東豊雄著
- ・篠原一男住宅図面 / 篠原一男 [作]; 篠原一男住宅図面編集委員会編.
- ・内藤広 / インナースケープのディテール / 内藤広建築設計事務所編著.
- ・ブリツカー賞 : 受賞建築家は何を語ったか / 杉山まどか翻訳.
- ・アンディ・ウォーホル / ジョセフ・D・ケットナー 2世著; 藤村奈緒美訳.
- ・ジョージア・オキーフ / ランダル・グリフィン著; 藤村奈緒美訳

■ 環境科学研究科大学院生 Y.K.さんが選んだ本

Y.K.さんの
コメント

学生に選ばせてくれることは、非常によいと思いました。ぜひ続けて下さい。書店に本がない場合もあるので、3日前に複数店舗を回って自分で見つける、といったことができればと思いました。ネット販売を使うより、地元の書店で買うことを大事にしたいと思います。この企画が、学生に、リアルな本屋さんに触れることのおもしろさを知ることにもなればと思います。

- ・京大大人気講義サイエンスの発想法 : 化学と生物学が融合すればアイデアがどんどん湧いてくる / 上杉志成著.
- ・ふるさとをつくる : アマチュア文化最前線 / 小島多恵子著
- ・雑食動物のジレンマ : ある4つの食の自然史 / マイケル・ポーラン [著]; ラッセル秀子訳; 上, 下
- ・経済学は人びとを幸福にできるか / 宇沢弘文著
- ・シティ・ファーマー : 世界の都市で始まる食料自給革命 / ジェニファー・コックラル=キング著; 白井和宏訳
- ・創造農村 : 過疎をクリエイティブに生きる戦略 / 佐々木雅幸, 川井田祥子, 萩原雅也編著
- ・コケの自然誌 / ロビン・ウォール・キマラー著; 三木直子訳
- ・理不尽な進化 : 遺伝子と運のあいだ / 吉川浩満著.
- ・人は100Wで生きられる : だいた先生の自家発電「30W生活」 / 高野雅夫著
- ・南国港町おばちゃん信金 : 「支援」って何? 「おまけ組」共生コミュニティの創り方 / 原康子著; 田中由郎イラスト.
- ・生物多様性・生態系と経済の基礎知識 : わかりやすい生物多様性に関わる経済・ビジネスの新しい動き / 林希一郎編著
- ・[らしい]建築批判 / 飯島洋一著
- ・3.11以後の建築 : 社会と建築家の新しい関係 / 五十嵐太郎, 山崎亮編著..
- ・牛と農村の近代史 : 家畜預託慣行の研究 / 板垣真志著
- ・日本のテンナンショウ : 原色植物分類図鑑 / 邑田仁著

■ 法学研究科大学院生 T.N.さんが選んだ本

T.N.さんの
コメント

店頭にない書籍も選べるとさらによい。

- ・『ふしぎなキリスト教』と対話する / 来住俊英著
- ・敗北の外交官ロッシュ : イスラム世界と幕末江戸をめぐる夢 / 矢田部厚彦著
- ・狂講深井志道軒 : トントン、とんだ江戸の講師 / 斎田作樂著
- ・現代日本政治史 : 政治改革と政権交代 / 薬師寺克行著
- ・近代日本政治思想史 : 荻生徂徠から網野善彦まで / 河野有理編
- ・村落伝承論 : 『遠野物語』から / 三浦佑之著. - 増補新版
- ・ハルビン駅へ : 日露中・交錯するロシア満洲の近代史 / ディビッド・ウルフ著; 半谷史郎訳
- ・建築家・松村正恒ともうひとつのモダニズム / 花田佳明著
- ・実録相沢事件 : 二・二六への導火線 / 鬼頭春樹著
- ・里山発電 : 地方の未来を変えるソーラーシェアリング / 中村鉄哉著
- ・原発広告と地方紙 : 原発立地県の報道姿勢 / 本間龍著
- ・代官の判決をひっくり返した百姓たち : 仙台藩入会地紛争 / 支倉清, 支倉紀代美著
- ・新しい農協法務 : 課題と実践のガイド / 御宿義著
- ・建築虎の穴見聞録 : 訪ねて歩く材料と工法 / 大嶋信道著.
- ・キリスト教思想断想 / 近藤剛著. - 増補版
- ・北一輝 : 革命思想として読む / 古賀運著.
- ・凶解国会の楽しい見方 : 政治のしくみを裏側も含めサッと学び直す本 / 時事通信社政治部監修.
- ・孝謙・称徳天皇 : 出家しても政を行ふに豈障らず / 勝浦令子著.
- ・最初期ハイデッガーの意味論 : 発生・形成・展開 / 渡邊和典著.

SERIES

「ゆかりの人々」～ 文学研究科 山田仁史 准教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大学コレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ11回目は、本学文学研究科の山田仁史准教授です。



「読書百遍、意自ずから通す」という言葉に、私はちょっと疑念を抱いています。聖書でさえ、その成立史を探究し、諸写本を比較することなくしては、正確な理解は困難であることが、19世紀以来明らかになってきました。ましてや多様なメディアから膨大な情報が発信される今日、知りえたことどもを鵜呑みにするのではなく、それらを比較検討する過程はますます重要になっていきます。私の書いたものもすぐに信用せず、ぜひ批判的に読んでください。



『**比較宗教学の誕生 宗教・神話・仏教**』筑摩書房、2015年刊

首狩・カニバリズム・人身供犠など、何だかぶっそうな言葉が並んでいます。これらはかつて人類社会で広くおこなわれてきた慣習です。現代日本に住むわれわれにとっては一見異様に感じられますが、これらをおこなってきた人々は、彼なりに意味ある行為として、やっていたはず。そうした精神的背景を知るために、人々の神話や世界観を宗教民族学という立場から研究し、まとめたのが本書です。

人間とはどんな生き物なのか。ヒトの本質を知る手がかりとして、こうしたやや極端な営為に目を向けることも、有用なのではないか。そんなことを私は考えています。また本書では、宗教民族学という学問になじみのない読者のために、その概要を見取図のようにまとめておきました。キーワードは狩猟採集、牧畜、農耕といった生業活動と、世界の言語をグループ分けした語族といった概念です。この魅力的な世界に関心をもつ人が一人でも増えてくると、嬉しいなと思っています。

『**水・雪・氷のフォークロア 北の人々の伝承世界**』

山田仁史ほか編著、勉誠出版、2014年刊

私は仙台で生まれ育ったくせにスキーやスケートが苦手ですが、雪だるま作りや雪合戦は冬の遊びの定番でした。氷柱を折り、



霜柱を踏んで学校へ通ったのも楽しい思い出です。北方に住む人々も、雪や氷に包まれた冬を体験してきたのだから、関連する言い伝えを集めてみたら面白いのでは——こうして出来上がったのが本書です。とくに前半では言語や音楽を専門とする研究者が、少数民族のもとでじかに集めた単語や諺、物語や歌詞などを紹介しています。本書のはしがきでは、アンデルセン『雪の女王』に言及しました。この童話にインスピレーションを得たディズニー映画『アナと雪の女王』が昨年、全世界の多様な言語に訳され、人気を博しています。雪や氷はすでに北の人々の専売特許ではなくとも言えますが、あくまでスクリーン上での話です。台湾や沖縄から東北大に来た学生たちは、初めて見る雪景色に歓喜します。やはり現場の力は健在です。現地を歩いてきた執筆陣から、その迫力を感じとってほしいと思います。(本館2F学閲 G189/0126)



『**比較宗教学の誕生 宗教・神話・仏教**』

F・M・ミュラー著；山田仁史ほか訳、国書刊行会、2014年刊

私が所属しているのは宗教学研究室ですが、この学問の創始者と見なされているのがフリードリヒ・マックス・ミュラー(1823～1900)です。彼は19世紀に蓄積されつつあったさまざまな宗教の資料をもとに、それらを比較するという方法論を用いて、多大な業績を残しました。しかしこれまで、

邦訳で読めるものはわずかでした。本書で私は、「比較神話学」をはじめとする3編を翻訳しましたが、ミュラーの格調高く、ときに情熱的な英語を日本語に移すのはなかなか困難な作業でした。ラテン語やギリシャ語、サンスクリットなどの引用にも悩まされ、たくさんのお僚や研究者仲間、また先学たちから教えをうけ、どうにか完成させましたが、「翻訳者は裏切者(Traduttore, traditore)」という警句を、我がことと思わずにはいられません。しかしこの訳書により、このところ過小評価されてきたミュラーに対する理解が国内で深まることを、心から期待しています。そしてまた、現在のようには学問分野が細分化されてしまう以前、荒削りには見えますが個々の学者が広大な領域に興味を抱き、百科全書的に該博な知識をもってエネルギーに研究を進めていた時代から、学ぶことも多いと思うのです。(本館2F学閲 HK13/0177)

SERIES

〈つながり〉の一冊 『人間の土地』

「あの名作と合わせて読みたい作品」

文学部人文社会学科4年 増田 愛

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



『人間の土地』
サン＝テグジュペリ著；
堀口大樹訳
新潮文庫

サン＝テグジュペリという名前を聞いて、ピンとくる人もいるかもしれません。

そう、あの『星の王子さま』の作者のことです。この『人間の土地』という本は、パイロットでもあったサン＝テグジュペリが自身の経験を描いた手記になっています。彼はときに飛行機ごと風につかれ、ときに死ぬかもしれないという恐怖と戦いながら飛行機を操縦していました。この手記の後半では、彼が砂漠に迷い込み、食料も水もないままさまよったときの経験が語られています。このとき作者は死のぎりぎりの淵にまで追いやられ、この経験が彼の思想、ひいては彼の文学作品に大きな影響を与えたと言われています。

『星の王子さま』を読んだことのある人ならば、作中で砂漠のシーンがあるのを思い出せるでしょうか。あの風景は、作者自身の経験から描かれているものなのです。飢えと渇きにもがき苦しみながら、朦朧とする意識のなかで大切な人たちのことを思いながら、生きるとは何か、死ぬとは何かを自問自答する場面は迫真です。死を目の前にした絶望のさなかに思うこと、なかに、人の本質を見たような気がしました。

私は、この作品を読んでから『星の王子さま』の見方がガラッと変わりました。『星の王子さま』が好きな人はもちろん、ちょっと好みじゃないんだよね…という人も、だまされたと思って読んでみて下さい。『星の王子さま』と違って少し固い文章ですが、絶望感や臨場感があふれるほどに描かれているこの作品には本当に引き込まれます。ぜひ、あなた自身で読んで確かめてみて。(本館2F学閲 KR171/043)



オリエンテーションに参加しよう！

【本館】

本館では、新入生向けに図書館活用法の説明をする「図書館オリエンテーション」と、館内ツアーを行います。申込み不要ですので気軽にご参加ください。

Library orientation for the incoming students will take place in Main Library, and also library tours will be held then. No booking required.

開催日程

◎図書館オリエンテーション(日本語) <各15分、本館1号館2階 グローバル学習室>

4月6日(月)～8日(水) ①12:15- ②13:15- ③15:15-

4月9日(木)～10日(金) ①12:15-

館内ツアー。各日最終回15:35～16:05(30分で館内をご案内します。)

◎Library Orientation (English)

<About 15 minutes for each/at Global Learning Room of the Main Library (2F)>

April 9th (Thu)-10th (Fri) ②13:15- ③15:15-

Library tours will run from 15:35 to 16:05 (about 30 minutes) on both 9th and 10th.



▶昨年度のオリエンテーションの様子(本館)

【各分館】

ご要望により随時、館内の案内やサービス概要を説明しますので、カウンターにお申し出ください。



レポート作成に役立つ講習会

【本館】

本館では、学習・研究に役立つ講習会「情報探索のススメ」を開催しています。4月は新入生向けに以下の内容で開催しますので、参加して、大学生に必要なスキルを身に付けましょう。

<情報探索のススメ 4月>

★入門編<学部1年生向け>:

レポート作成に欠かせない資料探しのポイントを知りたい!(各30分)

4月13日(月)・17日(金) 学術情報の集め方

4月14日(火)・20日(月) 図書の探し方

4月15日(水)・21日(火) 雑誌論文の探し方

4月16日(木)・22日(水) 新聞記事の探し方

各日、①12:10-12:40
②15:10-15:40
③16:30-17:00

★中級編<大学院生向け>:

もっと専門的な資料を探したい(各45分)

4月23日(木)・24日(金) 日本語・外国語論文の探し方

各日、①13:30-14:15
②15:00-15:45



▶昨年度の講習会(レポート作成セミナー)の様子(本館)

5月以降の講習会については、随時図書館ウェブサイトや館内の掲示でも案内しますので、こちらもぜひチェックしてみてください。

また、レポートの書き方を一から学びたい方は、本誌p.4の科目「大学生のレポート作成入門」をぜひ受講しましょう!

【各分館】

各分館でも随時講習会を実施しております。

内容・スケジュールなど、詳しくは各館ウェブサイトをご覧ください。

はぎのすけのつぶやき

「東北大学附属図書館イメージキャラクターのはぎのすけです。皆さんの快適な学習環境をおたすけいたします。どうぞよろしくおねがいいたします。」



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつぶやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN

編集・発行

東北大学附属図書館報「木這子」第40巻第1号
[発行日] 平成27年4月1日 [発行] 東北大学附属図書館
[発行人] 米澤 誠 (広報委員会委員長)

東北大学附属図書館
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
TEL:022-795-5911 FAX:022-795-5909